

授業科目名・形態	ソーシャルワーク論Ⅵ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	高橋 俊文	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

### 【授業の主題】

相談援助においては、個人情報を取り扱う場面が多くあります。そこで、本講義では最初に個人情報の内容について学び、次に個人情報の保護の方法について学びます。また近年、ICTが開発、発展し、相談援助の場面においても導入されています。本講義でもICTの活用の方法、その留意点を学びます。そして最後に事例分析の方法を学び、実際に事例分析を行います。

### 【到達目標】

- 1) 相談援助における個人情報保護について説明できる。
- 2) 相談援助における情報通信（ICT）について理解する。
- 3) 事例分析の方法を理解し、発表、報告することができる。

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 相談援助と個人情報保護、個人情報とは、個人情報の考え方
- 第 3回 個人情報保護制度の展開
- 第 4回 相談援助における個人情報保護の課題
- 第 5回 情報通信技術（ICT）と福祉情報、相談援助における情報通信技術（ICT）
- 第 6回 相談援助における情報通信技術（ICT）活用の留意点
- 第 7回 前半の振り返り
- 第 8回 事例研究（ケーススタディ）とは、事例研究の目的と意義
- 第 9回 事例研究の方法と留意点（事例研究の目的とデザイン、事例研究の方法、留意点）
- 第10回 事例分析の目的と意義
- 第11回 事例分析の方法と留意点（分析の準備から発表、報告まで）
- 第12回 事例分析①：ソーシャルアクション（分析から発表、報告まで）
- 第13回 事例分析②：児童虐待（分析から発表、報告まで）
- 第14回 事例分析③：ホームレス（分析から発表、報告まで）
- 第15回 まとめ

### 【授業実施方法】

講義形式

### 【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度等を再確認しておくこと。

### 【主な関連する科目】

ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

### 【教科書等】

相談援助技術の理論と方法Ⅱ（新・社会福祉士養成講座8 中央法規）

### 【参考文献】

適宜プリント等配布を行う。

### 【成績評価方法】

定期試験85%、授業への取り組み（積極的な授業への参加、予習・復習、発表など）15%で総合評価する。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設及び地域包括支援センター等でソーシャルワーカーとして、利用者、その家族等への相談業務を経験している。授業を通して社会福祉学の基本知識だけでなく、実務経験から得たソーシャルワーカーとしての知識・技術・価値を統合する能力についても高めていきたい。

### 【学生へのメッセージ】

ソーシャルワーク実習をより良い学びの場とするために、個人情報の適切な取扱い方、ICTの活用方法、事例分析の方法を学んでください。